

「第19回コンプライアンス委員会」議事要旨

- 1 日 時 令和8年3月3日（火） 13:57～15:24
- 2 場 所 機構北館6階大会議室
- 3 出席者 瀬島委員長、得田委員長代理、友常委員（外部有識者）、藤島委員、橋場委員、大倉委員、後藤委員、玉原委員、天羽理事長、大野監事、渡邊監事、各総括調整役（部長兼務者含む）、各部長、各地方事務所長、事務局（計27名）
- 4 資 料 第19回コンプライアンス委員会（令和7年度）
- 5 議 事
 - (1) 令和7年度コンプライアンス推進計画に基づく取組実績について
令和7年度コンプライアンス推進計画に基づく取組実績について、計画のとおり実施した旨、事務局から報告があった。
次に、各セグメント等の令和7年度におけるコンプライアンス推進の取組状況について、各委員および各地方事務所長から報告があった。
また、友常委員から「ハラスメント～パワー・ハラスメントを中心に～」をテーマに情報提供があり、パワー・ハラスメントの定義等ハラスメントに関する基本的事項とともに、近時の傾向および組織風土について解説があった。その中で、近年のネット社会の発展とともに、社会の意識が急激に変化している中で、特に「ハラスメント」に関して、世代間での認識に大きなギャップが生じており、経営トップであろうと辞任に至るケースがあるように、誰しもが被害者にも加害者にもなり得るとの説明があり、ハラスメントや不正の防止に当たっては、職場のコミュニケーション、風通しの良い職場というものが重要であり、「ハラスメントをしない・させない・許さない」という組織風土が必要であるとの助言があった。
これを受け、機構として引き続きコンプライアンスを推進していくことを確認した。
 - (2) 令和8年度コンプライアンス推進計画（案）について
令和8年度コンプライアンス推進計画（案）について、審議の結果、案のとおり了承された。
 - (3) その他
その他議事は特段なし。